

小学6年生 夏休み作文特集

小学校6年生にとっては、小学校生活での最後の夏休みとなりました。また今日までの学校生活で嬉しかった思い出も沢山出来たことでしょう。

「私の夏休み」「小学校生活をふりかえって」の作文です。



hida

広 報

ひだ

町 木



第71号

肥 田 町

まちおこし推進協議会

H26.10.20発行

私の夏休み

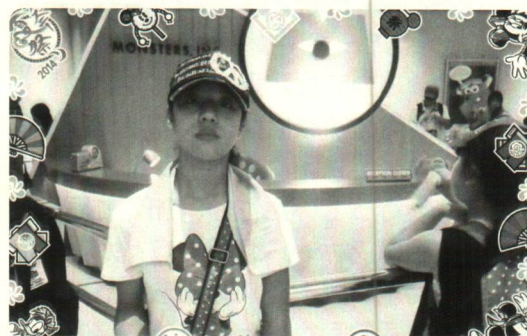
宮川 愛那

私の夏休みで楽しかったことは、地蔵盆とディズニーランドに行ってきたことです。

地蔵盆の中でも、楽しかったことは、子供会のみんなと、ご飯を食べたり、普段は遊ばない友達と遊べたりした事です。雨が降ったから予定通りにはいかなかったけれど、役員の方やみんなで色々考えて、楽しい地蔵盆だったと思います。

もう一つは、「きもだめし」です。前日から私達でがんばって準備をしてきたけれど、外では出来なくなってしまいました。なので公民館の中ですることになりました。外とは違うから少し手間取ったけれど、みんなをおどろかせることが出来たので良かったです。次に楽しかったことは、ディズニーランドに行ったことです。

ディズニーランドでは、ホテルに泊まりました。きれいなホテルで、外のながめもすごく良くて食事もととてもおいしかったです。ディズニーランドでは、パレードやモンスターズインクの乗り物や、トイス



トーリーの乗り物などに乗りました。またディズニーシーにも行きました。そこでもパレードを見たり、ジェットコースターに乗ったりしました。色々とお楽しみすることが出来て良かったです。

今年の夏休みが、小学校最後の休みだったけれど、6年間、ラジオ体操と、日曜学校を頑張れたことも良かったです。楽しい思い出をたくさん作れました。

小学校生活をふりかえって 大城 風花

私は、この6年間でふり返り、考えてみると色々なことがありました。

まず、1年生の時、はじめての登校で、まだ何も分からずにいた時、6年生の人が優しく連れて行ってくれました。次に2年生、ほんの少しだけ一年上になっただけで嬉しかったです。私は1年生に優しくしようと意識しました。次に3年生、中学年の仲間入りで、もう少

ししっかりしなければと心がけました。3年生では、社会と理科の勉強が始まりました。低学年の時とは少し違った気持ちでした。4年生では、初めてのお泊り体験、少し緊張したけれど、楽しかったです。特にリバーボートでは、自分で漕いだりしたことが一番心に残りました。次に5年生、6年生では、船で泊まって、とても楽しかったです。お楽しみ会では、かき氷や、クラッカーサンドなどを作って食べたりして、楽しかったです。最後に6年生、私は1年生の時、まだ何も分からずいた時、6年生の人に助けてもらった事を思い出しました。私は、今、昔優しくしてもらったような自分であるか、6年生としてその行動は正しいのか心配です。なので、これからどんな事があっても、それが本当に正しい事か一度考えてから行動しようと思います。私は、これから誰にでも優しく出来て、下級生の人たちに優しいなあと考えてもらえるような6年生でいたいです。



ぼくの夏休み

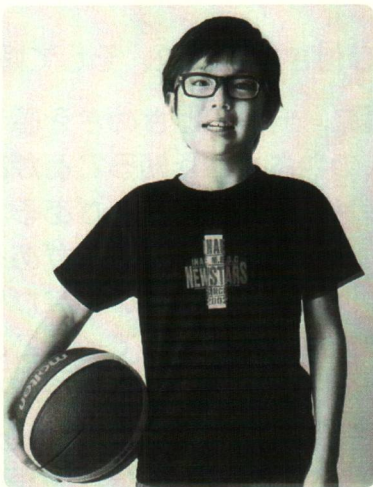
森野 風圭瑠

小学校生活最後の夏休みは、すごく有意義なものでした。

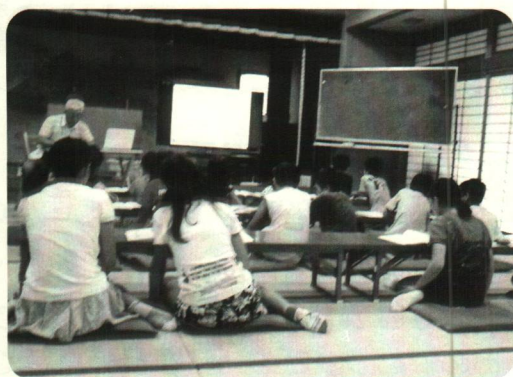
ぼくは、この夏休み、信州の白馬に行きました。一泊二日で行きました。

一日目は、川でラフティングをしました。その日は波が高くて、ボートが飛び上がることが多くて、すごくスリルがありました。飛び込んで良い時が何度かあって飛び込むと、水が冷たくてすごく気持ち良かったです。

ラフティングが終わった後、ホテルに行って、二日目の朝、ホテルの近くのアスレチックに行きました。高さ8mのところからしたので、すごく怖くて迫力がありました。次は、そば打ち体験をしました。こねるところや、伸ばすところがむずかしかったです。どれもすごく楽しかったしスリルがありました。来年もまた行きたいです。

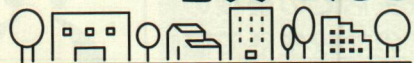


子ども生き物観察勉強会開催

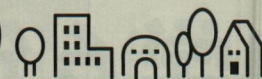


この夏は天候が悪く、子ども達の夏休みを活用して、水と生物に詳しい成宮一郎副自治会長を先生に、「水生生物で見る湖東の水」「あいつの生きもの図鑑」などをテキストとした子供会全員参加の勉強会が開かれました。子ども達には、新鮮な知識がいっぱいで楽しい時間でした。

写真で見る

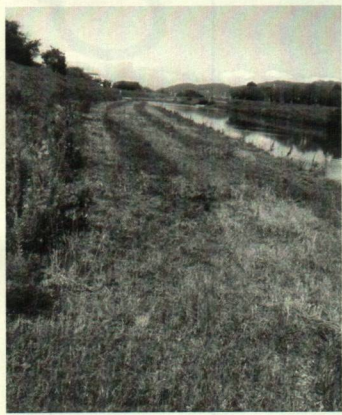


活き活き町の活動



宇曾川の景観保持に 努めています。

肥田町では、恒例の全町民参加の宇曾川堤の除草作業が8月末に実施されましたが、9月の初めには、県の支援作業で宇曾川両岸の広域の除草を行っていただき、加えて肥田町ファーム肥田の方々が9月末には、河川敷を含めた美化活動を行い町挙げて努力していますが、自治会としても堤防2キロを超える広範にわたる守備範囲には課題が多く残されています。



福寿会で登録有形文化財 「ふじ石亭」の見学



福寿会では、恒例の秋の研修会として今回は、長浜市の「ふじ石亭」を訪ねました。こんな近くに在りながら訪ねる機会をし失している人も多いかと思いましたが、そのお庭と建物の原点は、ヤンマー(株)の創始者 山岡孫八氏が下郷共済会から昭和17年に譲り受け、「邸宅 紅梅荘」とし迎賓館としても使われて

いました。昭和29年から3年かけて富士山の溶岩石を実に総量貨車100台分を搬入し敷地周囲に積み上げられ絶景のお庭がつけられています。建物といい、お庭といいお料理にと最高の気分の日でした。



ミニ情報

1) ごみ処理施設の選定について

既に平成25年の2月に皆さんのご協力を得て撤回の終結をみました三津海瀬への広域ゴミ処理施設計画がありましたが、その折には一市四町の首長の協議会で選定することになっていましたが、先般、広域協議会が行われ、ゴミ焼却場の建設については、これからは内々に決めるのではなく、候補地選定委員会を発足させ、地域住民も含めた公募による委員を募集して行うこととなり、協議会は解散し、市議会も承認する諮問組織となりました次第です。(10月内の募集が新聞紙上で掲載。)

2) ご検討いただいている隣組の再編成について

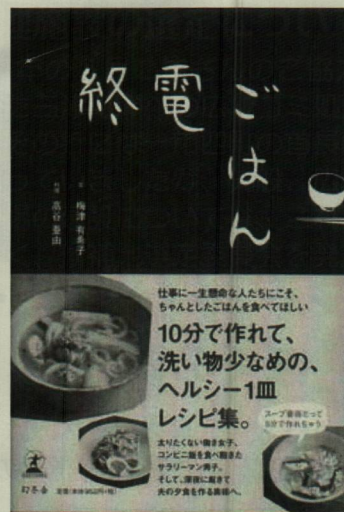
今度、11組と12組の統合が確定しました。皆様方にも再度お互いにご検討のほどお願いします。

Book ブック 紹介コーナー

「終電ごはん」

発行 / 幻冬舎

お仕事に一生懸命な、お忙しい方々に、ちゃんとご飯を食べて欲しいと実生活体験から企画された方と、京都に拠点を置いて活躍しておられる料理家とご一緒に考えて作られた10分でつくれる献立集。実際に働いておられる女性の方、単身赴任の方に推薦して大変に喜ばれました。昨年度お料理のベストセラーとなった本です。お役に立てると幸いです。(952円+税) お近くの協販書店でも取り寄せられます。



ひとくち

メモ

この言葉の大切さ

この短い言葉の中に、人と人との心の結び付きが生まれ、そして嬉しい気持ちが通い合います。

「はじめまして」この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることがある。

「ありがとう」この一秒ほどの言葉に、人のやさしさを知ることがある。

「おめでとう」この一秒ほどの言葉で、幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」この一秒ほどの言葉に、人の弱さを見ることがある。

「こんにちわ」この一秒ほどの短い言葉に、人と人との深いつながりを感じることがある。

「がんばって」この一秒ほどの言葉で、勇気がよみがえってくることもある。

「さようなら」この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになる時がある。

一秒に喜び、一秒に泣くこともある。一生懸命も一秒です、言葉を大切に。

(福寿会の冠句開きの折に紹介しています)